

企業の発展を願い 従業員の成長を願う その一步一步をアシストします

Step Up

2019年11月号 発行者：人事マネジメント研究所 進創アシスト 代表 鷹取敏昭 (人事コンサルタント, 社会保険労務士, 社会福祉士)
【無断転載・無断複製禁止】 携帯：090 3269 7712 E-mail：takatori@shinsou-assist.com

これだけは押さえておきたい！

人事労務の最新情報

～弊社ブログに、下記情報のリンクを貼っています～
<http://shinsou-assist.blog.jp/>

[リーフレット「労働時間の考え方:研修・教育訓練」/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/content/000558972.pdf)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000558972.pdf>

[働き方改革特設サイト/厚労省](https://mhlw.lisaplusk.jp/jump.cgi?p=7&n=87)
<https://mhlw.lisaplusk.jp/jump.cgi?p=7&n=87>

[「人手不足の下での「働き方」をめぐる課題について」分析～2019年版労働経済白書/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_06983.html)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_06983.html

[働き方改革で業務量が増す中間管理職/パーソル総合研究所](https://rc.persol-group.co.jp/news/201910030001.html)
<https://rc.persol-group.co.jp/news/201910030001.html>

[「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施します/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign.html)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign.html>

[「2019年版過労死等防止対策白書」を公表/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07039.html)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07039.html

[過労死等の防止対策の実施状況などを紹介～過労死等防止対策推進協議会/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07295.html)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07295.html

[労働条件をめぐる悩み不安:相談は「労働条件相談ほっとライン」/厚労省](https://mhlw.lisaplusk.jp/jump.cgi?p=14&n=89)
<https://mhlw.lisaplusk.jp/jump.cgi?p=14&n=89>

[介護休業を利用できる方は・・・/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/000355361.pdf)
<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/000355361.pdf>

[介護休業制度/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/content/000177581.pdf)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000177581.pdf>

[育児休業を利用できる方は 制度の紹介 / 厚労省](https://lkumen-project.mhlw.go.jp/employee/system/)
<https://lkumen-project.mhlw.go.jp/employee/system/>

[「両立支援等助成金」仕事と家庭の両立支援に取り組む事業主を応援/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/content/000539051.pdf)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000539051.pdf>

[2020年1月6日からハローワークのサービスが充実します！/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wzyXngsVI35CeNVRy)
<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wzyXngsVI35CeNVRy>

[雇用保険に関する業務取扱要領\(令和元年10月1日以降\)/厚労省](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/koyouhoken/data/forlatsukai_youryou.html)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/koyouhoken/data/forlatsukai_youryou.html

[パワーハラスメント対策導入マニュアル\(第4版\)/厚労省](https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/jinji/download/#pawahara_manual_tit)
https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/jinji/download/#pawahara_manual_tit

[悪質クレーム対策の啓発動画を公開 / UAゼンセン](https://www.jil.go.jp/kokunai/topics/mmn/20191009.html?mm=1531)
<https://www.jil.go.jp/kokunai/topics/mmn/20191009.html?mm=1531>

[教育研修費用、2018年度実績額は1人当たり3万4,607円/産労総合研究所](https://www.e-sanro.net/research/research_jinji/kyoiku/kyoikukenshu/pr_1910.html)
https://www.e-sanro.net/research/research_jinji/kyoiku/kyoikukenshu/pr_1910.html

[仕事のやりがい要因、トップは「成果を認められること」/マンパワーグループ](https://www.manpowergroup.jp/client/jinji/surveydata/190925.html)
<https://www.manpowergroup.jp/client/jinji/surveydata/190925.html>

[今どきの新入社員、情報収集はデジタル、考えのまとめはアナログ/日本能率協会マネジメントセンター](http://www.jmam.co.jp/topics/1237407_1893.html)
http://www.jmam.co.jp/topics/1237407_1893.html

[退職のきっかけは「やりがいや達成感の欠如」/エン・ジャパン](https://corp.en-japan.com/newsrelease/2019/19432.html)
<https://corp.en-japan.com/newsrelease/2019/19432.html>

[若手社員の約半数が転職を検討・活動中/日本能率協会](https://jma-news.com/archives/aw_newsrelease/3359)
https://jma-news.com/archives/aw_newsrelease/3359

人事マネジメントの視点

■ あなたを“少し”動かす言葉は何？ ■

時間の制約ですべては出来ない
時間だけは皆平等。どんなお金持ちも、そうでない者も、皆やりたいことはたくさんあって効率的にやってもすべてのことは出来ません。その場合、何かを捨てなければならぬ。そして、残したもに対して優先順位をつける必要もある。

それはわかっている、なかなかやれない、取り組みないということもあるでしょう。気分が乗ったらやろう、たまにはそれもいいだろう。しかし、いつもいつもだと結局やらない。せっかく選択して優先順位をつけたのに意味がなくなってしまう。

出来ていないことを少しだけやる
その時には出来ていないことに、少しだけ手をつけてみる。
例えば、
・参考資料をとにかく手にとって開いてみる。
・作成するファイルをタイトルだけ付けてみる。
・ノートに1行だけメモをとってみる。
・セミナーを探してみる。申込みをしてみる。
・「なるほど」と一言声を出してみる。
・机の上の一隅だけ片付けてみる。
頭の中にあるだけではダメ。考えないよりはマシだが、それだけでは行動にはつながらない。

あなたを“少し”だけ動かす言葉は？
でも、やはり出てくる言葉は「時間が無い」。その言い訳はよく聞く。実は、私もよくその言い訳を使っていた。だが、最近は少しその壁を乗り越えている。その工夫の代表例がテレビを消す。リモコンを持って電源 off。テレビ好きの私にとって、究極の選択。大げさと思われるかもしれないが、offにできなかった。いまの若い人ならスマホを手から離してみようということになるだろうか。
そんなとき、ふと思いがけない言葉を耳にした。

「それ(いま見ている番組)は、今のあなたにとって本当に必要？」
必要と思ったら堂々と見ればよいし、それほどでもないな、と思ったら電源 off。
そう考えるととりあえず offに出来た。
そして、1分だけ手を動かしてみようと思い、やってみた。そうするとスムーズに取り掛かることが出来た。やるべきことが片付いた。電源 off、たまに失敗することもあるが、繰り返し出来ている。
そして、行動できたら「出来た」と小さく自分を褒めている。本当に些細なことかもしれないが、大きな結果につながりそうな予感がする。

さて、あなたを“少し”動かす言葉は何だろうか。

自分の力をもっと引き出したい人への推薦書

『あなたの脳のしつけ方』 中野信子著 青春出版社 ¥1400+税

(「はじめに」より) 著者であるわたし自身が、自分自身のありように苦しみながら、なんとか脳科学の知識を使って、自分の脳を「しつけ」てきた、その結晶ともいえる本です。誰でも脳をしつければ、自分の力をもっと引き出せる。自分自身を上手にしつけることで自分のありようを生かしながら、悠々と楽しい人生を送っていくことができる。

「脳のしつけ方」脳が主体ではなく、脳が客体になる。面白いタイトルだなあと感心しつつ手にした。身近なことを脳科学者らしい視点から解説。なるほど!!

